



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年2月4日

上場取引所 大

上場会社名 阪神内燃機工業株式会社
 コード番号 6018 URL <http://www.hanshin-dw.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 和彦

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部門管掌 (氏名) 山本 幸二

TEL 078-332-2081

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	8,045	△5.1	584	△1.2	580	△9.0	354	12.5
24年3月期第3四半期	8,482	△12.6	591	△14.8	637	△9.7	315	△21.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	22.22	22.15
24年3月期第3四半期	19.75	19.73

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	17,802	9,707	54.5	607.37
24年3月期	18,899	9,432	49.9	590.55

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 9,700百万円 24年3月期 9,427百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	△11.4	520	△8.3	520	△17.2	300	△1.9	18.79

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	16,009,000 株	24年3月期	16,000,000 株
25年3月期3Q	38,293 株	24年3月期	36,186 株
25年3月期3Q	15,967,982 株	24年3月期3Q	15,964,940 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4. 補足情報	8
(1) 受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新政権への期待感があるものの原発問題や中国・韓国の政治的リスクに解決の糸口が見えず依然として弱含みであり、円安に伴う輸出の持ち直しによる景気の底打ちが望まれません。

世界経済においては、米国は緩やかに回復すると見られる一方、欧州の債務危機の長期化や中国を含めた新興国経済の成長鈍化が景気の回復に水を注しています。

当社の関わる海運・造船業界におきましては、世界経済の低迷により需要が大きく落ち込み、厳しい状況が続いています。当社が主力とする内航船分野につきましては、国内製造業の空洞化により輸送量が減っているもののタンカー船やケミカル船の引き合いは続いており、今後、新政権による本格的な復興需要関連での引き合いが期待される所です。一方、鉄鋼業界の再編による物流の合理化の影響にも注視が必要となっています。また、海外案件では台湾の漁船や韓国の商船関連の引き合いが数件出ておりますが、価格等は依然として厳しい状況にあります。

このような企業環境のもと、当第3四半期累計期間の業績につきましては、受注高は、前年同期に大きく落ち込んだ部分品が持ち直した結果、前年同期比1.8%増の6,945百万円となりました。売上高は主機関が落ち込み同5.1%減の8,045百万円となりました。受注残高は、主機関販売高に受注が見合わず、同37.6%減の3,414百万円となりました。

損益面につきましては、部分品販売の持ち直しに加えて加工外販の受注や内製化による操業度確保、海外調達や競争購買による仕入コストの削減、そして、設備投資の抑制等による経費節減に注力しましたが、主機関価格の下落もあり、営業利益は584百万円(前年同期比1.2%減)、経常利益は580百万円(同9.0%減)、四半期純利益は354百万円(同12.5%増)となりました。

事業区分別では、主機関の売上高は、輸出が半減し4,638百万円(前年同期比14.3%減)となりました。部分品・修理工事は国内販売が回復し3,406百万円(同11.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は8,634百万円となり、前会計年度末に比べ809百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が311百万円減少したこと、及び仕掛品が174百万円減少したことによるものです。固定資産は9,167百万円となり、前会計年度末に比べ287百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が235百万円減少したこと、及び投資その他の資産が45百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、17,802百万円となり、前会計年度末に比べ1,097百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は4,373百万円となり、前会計年度末に比べ918百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が515百万円減少したこと、及び前受金が170百万円減少したことによるものです。固定負債は3,720百万円となり、前会計年度末に比べ454百万円減少いたしました。これは主に長期借入金332百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、8,094百万円となり、前会計年度末に比べ1,373百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は9,707百万円となり、前会計年度末に比べ275百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が306百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は54.5%(前会計年度末は49.9%)となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

第3四半期累計期間の実績は、利益面において通期の業績予想を上回っておりますが、変化の激しい経営環境の中で、先行きの見通し難から、現時点では平成24年11月5日に公表いたしました通期業績予想の修正は行っておりません。今後、修正の必要が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

① 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積りを考慮した予算を策定しているため、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定しております。

② 棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

2. 特有の会計処理

① 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,752,389	2,601,389
受取手形及び売掛金	3,776,466	3,465,165
有価証券	10,495	—
製品	520,168	429,421
仕掛品	1,211,342	1,036,969
原材料及び貯蔵品	979,462	994,940
その他	352,142	263,585
貸倒引当金	△157,800	△156,500
流動資産合計	9,444,668	8,634,972
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,305,958	1,264,077
構築物(純額)	243,660	223,162
機械及び装置(純額)	1,090,790	880,594
車両運搬具(純額)	4,073	3,073
工具、器具及び備品(純額)	79,536	117,333
土地	5,817,871	5,817,871
建設仮勘定	5,321	5,129
有形固定資産合計	8,547,212	8,311,243
無形固定資産	34,580	28,257
投資その他の資産		
投資有価証券	545,441	492,694
その他	350,428	389,629
貸倒引当金	△22,500	△54,600
投資その他の資産合計	873,369	827,723
固定資産合計	9,455,162	9,167,224
資産合計	18,899,831	17,802,196
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,687,017	2,171,835
1年内償還予定の社債	140,000	140,000
1年内返済予定の長期借入金	443,428	443,428
未払法人税等	117,562	120,314
前受金	1,030,436	859,859
賞与引当金	141,000	67,530
製品保証引当金	29,100	23,000
その他	703,768	547,773
流動負債合計	5,292,313	4,373,740

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
固定負債		
社債	440,000	370,000
長期借入金	876,288	543,717
再評価に係る繰延税金負債	1,714,667	1,714,667
退職給付引当金	911,723	872,255
その他	232,426	219,832
固定負債合計	4,175,106	3,720,472
負債合計	9,467,419	8,094,213
純資産の部		
株主資本		
資本金	800,000	800,598
資本剰余金	41,825	42,424
利益剰余金	5,364,157	5,671,108
自己株式	△9,958	△10,234
株主資本合計	6,196,025	6,503,896
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	128,202	93,111
土地再評価差額金	3,103,168	3,103,168
評価・換算差額等合計	3,231,370	3,196,280
新株予約権	5,016	7,806
純資産合計	9,432,411	9,707,982
負債純資産合計	18,899,831	17,802,196

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	8,482,049	8,045,505
売上原価	6,421,651	5,929,869
売上総利益	2,060,397	2,115,635
販売費及び一般管理費	1,469,059	1,531,259
営業利益	591,338	584,375
営業外収益		
受取利息	1,984	1,861
受取配当金	10,746	2,524
受取補償金	53,677	—
その他	12,359	11,397
営業外収益合計	78,767	15,783
営業外費用		
支払利息	24,210	18,013
その他	8,334	1,850
営業外費用合計	32,544	19,864
経常利益	637,561	580,295
特別損失		
固定資産処分損	11,828	2,452
投資有価証券評価損	1,439	—
特別損失合計	13,268	2,452
税引前四半期純利益	624,293	577,842
法人税等	309,000	223,000
四半期純利益	315,293	354,842

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

(i) 受注の状況

(単位 百万円：未満切捨)

区 分		前年同四半期 (累計)	当四半期 (累計)	(参考)前期
		〔平成23. 4. 1 から 平成23. 12. 31 まで〕	〔平成24. 4. 1 から 平成24. 12. 31 まで〕	〔平成23. 4. 1 から 平成24. 3. 31 まで〕
受 注 高	主 機 関	3,752 (55.0%)	3,539 (51.0%)	5,190 (56.2%)
	部 分 品 ・ 修 理 工 事	3,069 (45.0%)	3,406 (49.0%)	4,049 (43.8%)
	合 計	6,821 (100.0%)	6,945 (100.0%)	9,239 (100.0%)
受 注 残 高	主 機 関	5,468 (100.0%)	3,414 (100.0%)	4,514 (100.0%)
	部 分 品 ・ 修 理 工 事	- (-)	- (-)	- (-)
	合 計	5,468 (100.0%)	3,414 (100.0%)	4,514 (100.0%)

(ii) 販売の状況

区 分		前年同四半期 (累計)	当四半期 (累計)	(参考)前期
		〔平成23. 4. 1 から 平成23. 12. 31 まで〕	〔平成24. 4. 1 から 平成24. 12. 31 まで〕	〔平成23. 4. 1 から 平成24. 3. 31 まで〕
主 機 関		5,413 (63.8%)	4,638 (57.7%)	7,805 (65.8%)
部 分 品 ・ 修 理 工 事		3,069 (36.2%)	3,406 (42.3%)	4,049 (34.2%)
合 計		8,482 (100.0%)	8,045 (100.0%)	11,854 (100.0%)
(うち輸出分)		(2,064) (24.3%)	(1,417) (17.6%)	(3,144) (26.5%)